



航海日記

附録

特別
カ5
6012
4



航海日記

次

705
66012
4

<17-5102>



大日本横濱港よりオニフランシスコ迄の岩の入り用凡八百
 トン但一トシハ我小く百斤の嵩る地ボウハタと船小
 て一日の入り用三十トと余と云

亞國海上里法 或子早六マイルト五十八分
 同陸路里法 一千七百六十九マイルト

但一マイルト日本の曲尺三尺也

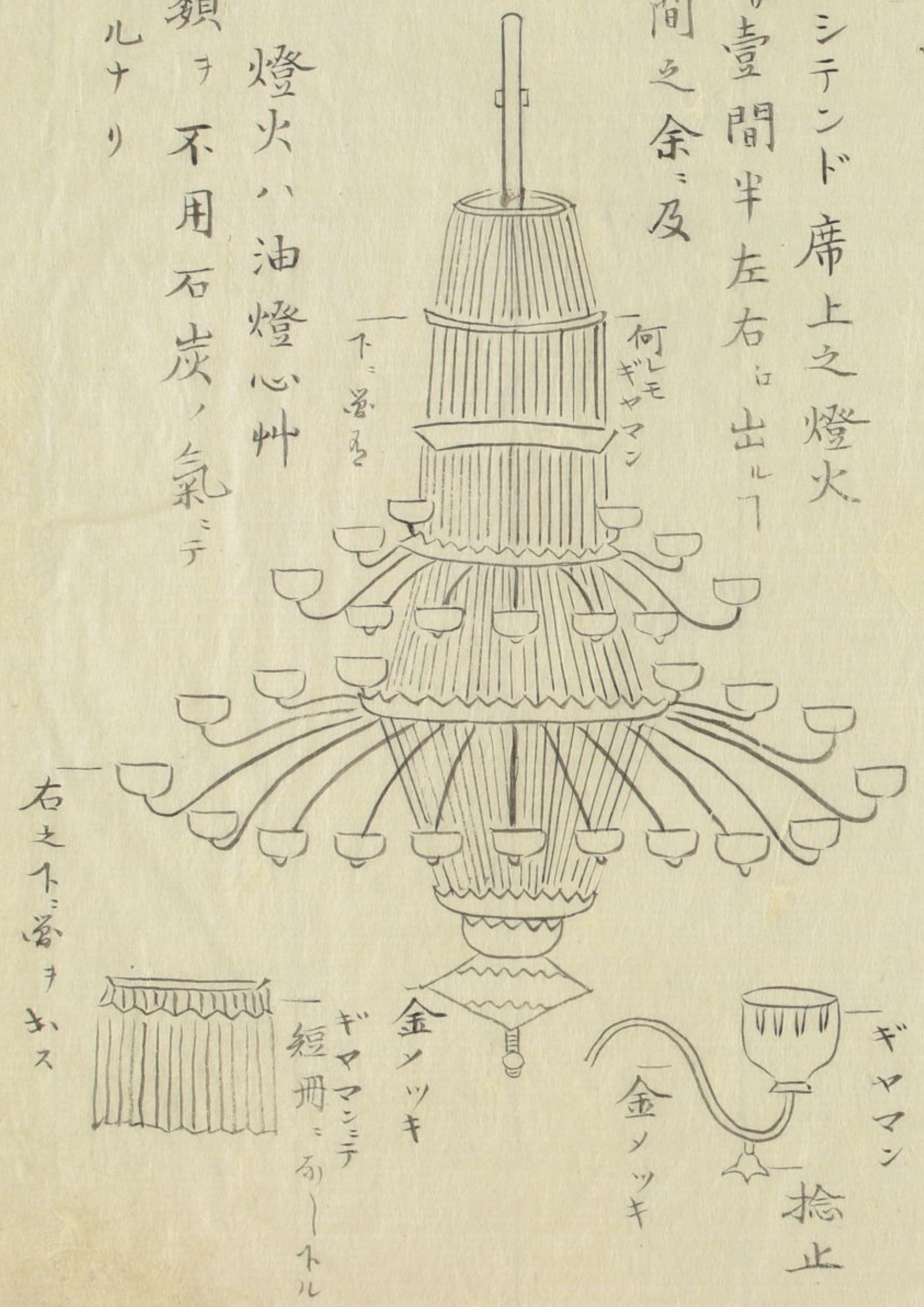
江戸よりオニト井ス迄まで 亜ノ三千四百四十里
 日、オニフランシスコ迄 四千里八百里
 オニト井ス迄よりオニフランシスコ迄 亜ノ二千二百二十里
 オニフランシスコより パナマ迄 亜ノ二千四百六十里
 パナマよりアスベニワル迄 陸路 九十七里
 但一陸路の船車より行へ



アスペンワルよりワシントン府迄 千七百六十里
 ワシントン府より子ウヨルク迄 二百里
 此は路を為し氣車より 五、八時より一
 ワシントン府よりボストン迄 四百四十里
 此は路を為し氣車より 十八時より
 子ウヨルクより ボストン迄 二百里
 カンフランシスコより アコボルコ迄 是ハパナマ迄の
 路を為し氣車より 二千里也
 又我々此を以て田舎より 寸二ト井ス為す
 王府迄 四百六十百九十里余也
 メリケン^の部^のワシントン。エニケレス^の部。ロント^の部。ホルラント^の部。アムス
 テルダム。フランス^の部。ハレイス。ロシヤ。ホリウス。シントペートルピユルグ
 旧都ムスコビーヤ。ホルラント^の部。チースタウリ

ブレシテンド席上之燈火
 長一壹間半左右 出ル
 壹間之余及

此、燈火ハ油燈心艸
 之類ヲ不用石炭ノ氣ニテ
 モユルナリ



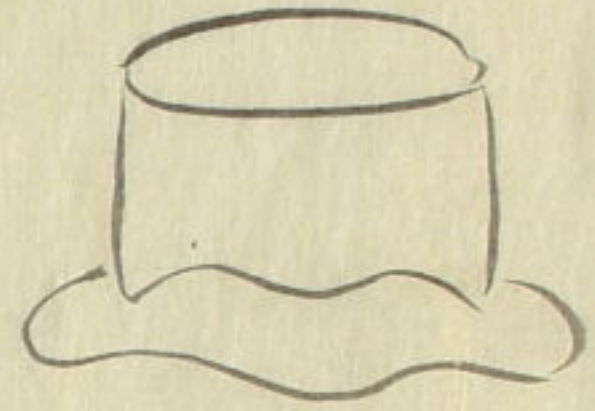
右ニ下ニ燈ヲ

短冊ニ有リト

拾止

米人之冠

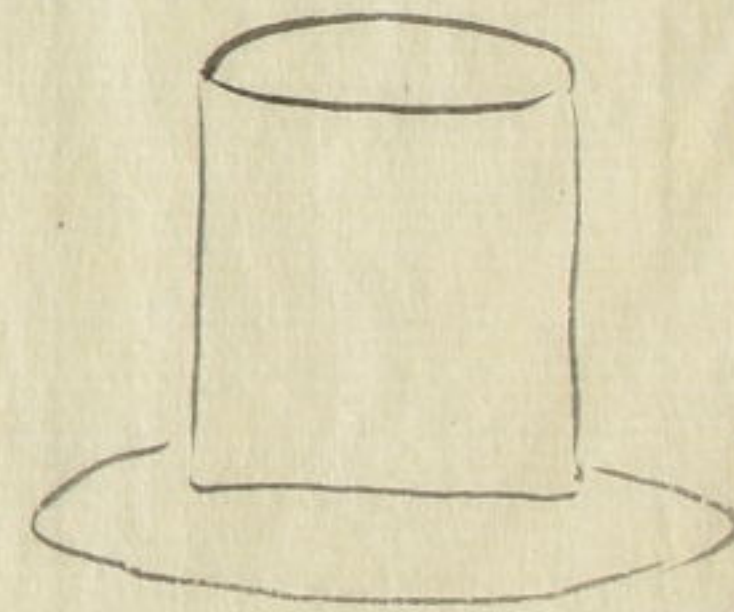
士宦



日



商人

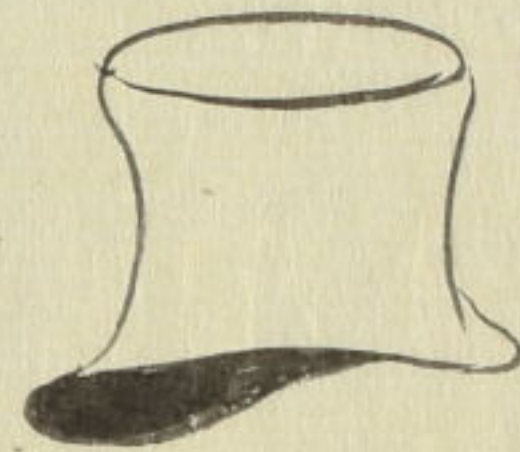


日花商人

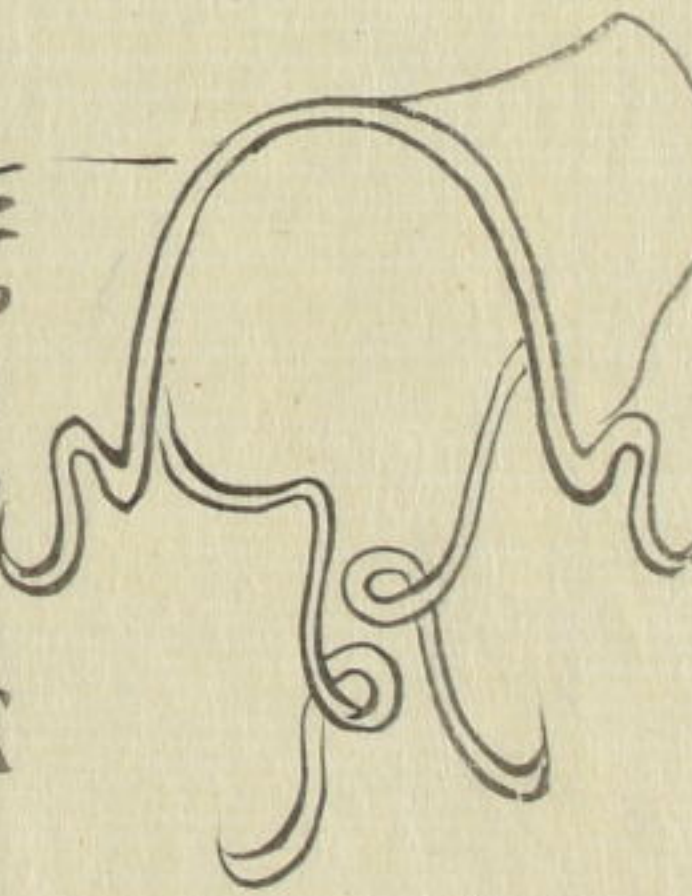
兵卒



日



婦人



此の如く切き或は菊の花を飾り
飾りたるは菊の花を飾り

日菊
白の菊
管と飾



十四の娘

家々之入口ノ上ニ毎夜

燈火スガス

ランプト云

其数

五六十

至ルモ

アリ



紙ニテ竹花ヲ作り

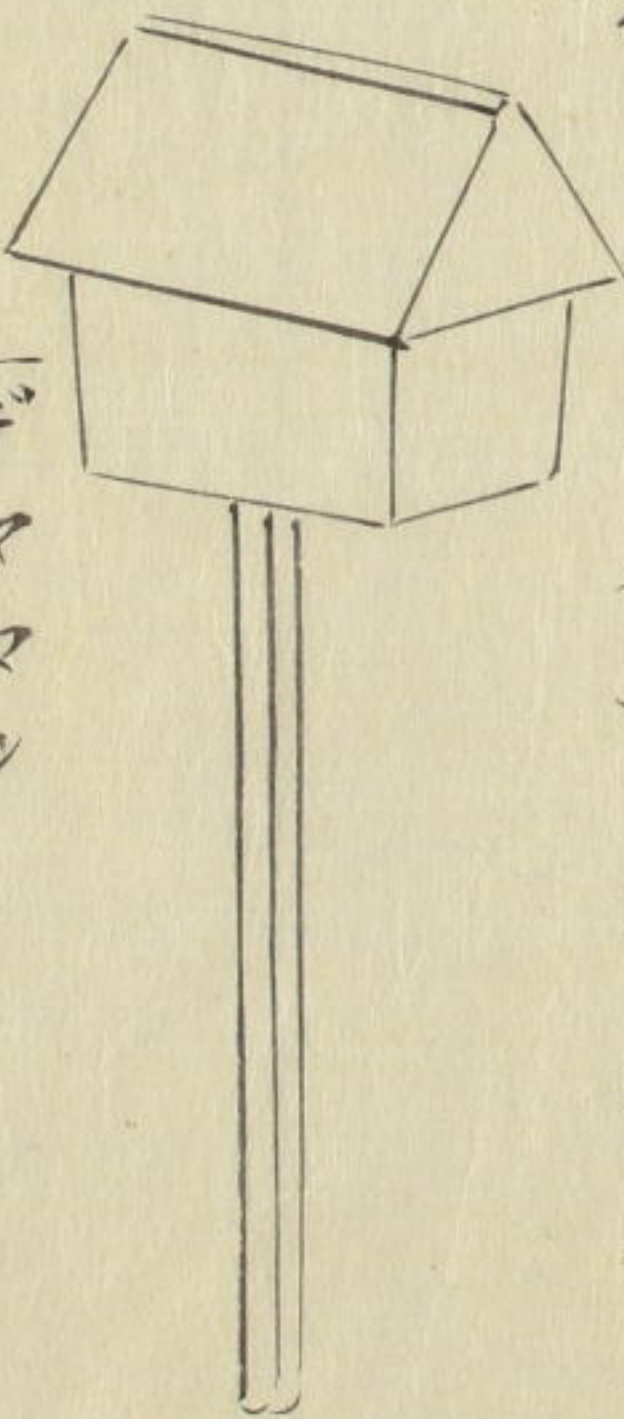
飾ル云

何レモギヤマン



往來ノ左右ニ有高燈籠

ギヤマン



夜ニ入室ノ燈

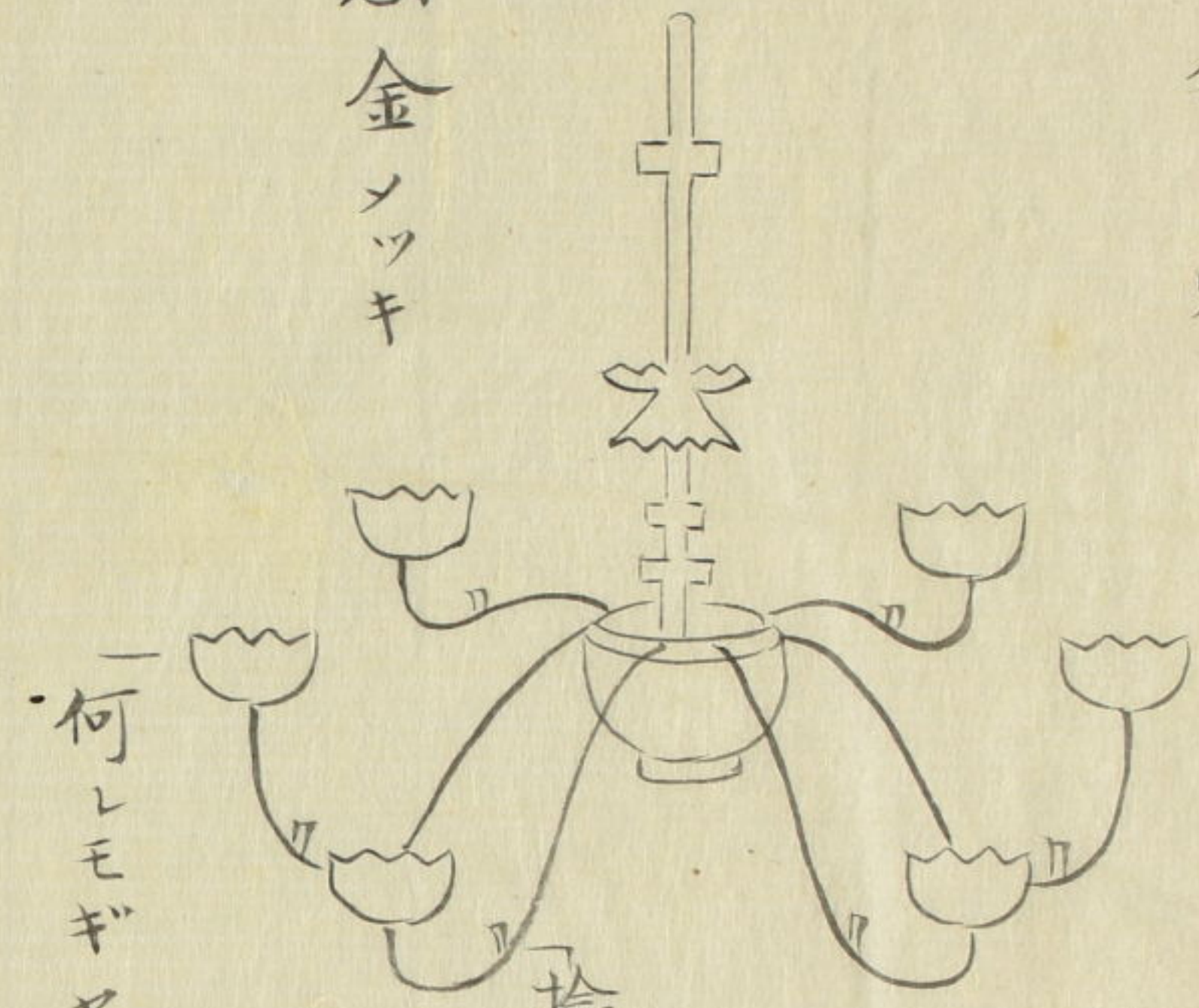
也金ノツキ云



拾止

旅館、燈火

懸金ノツキ

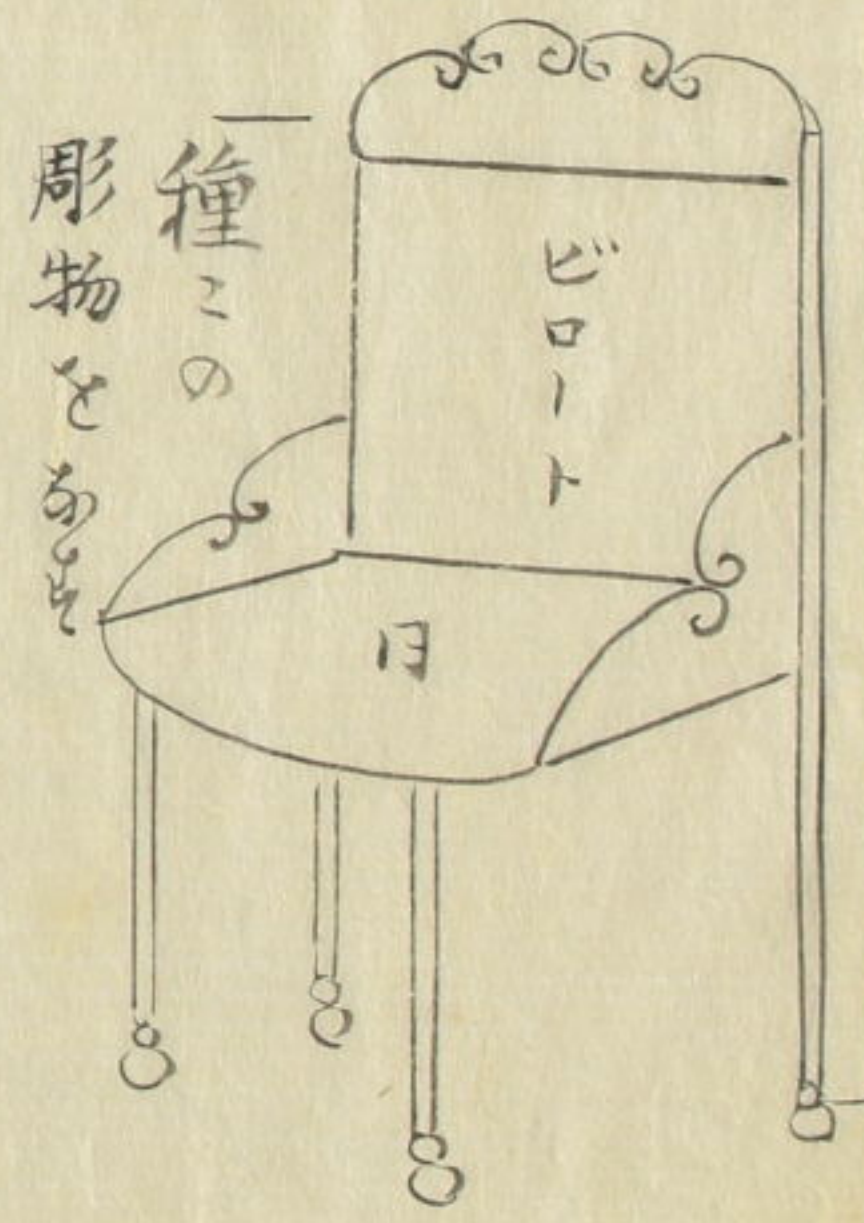


何レモギヤマン

拾止ニテ火氣増減ヲ句也

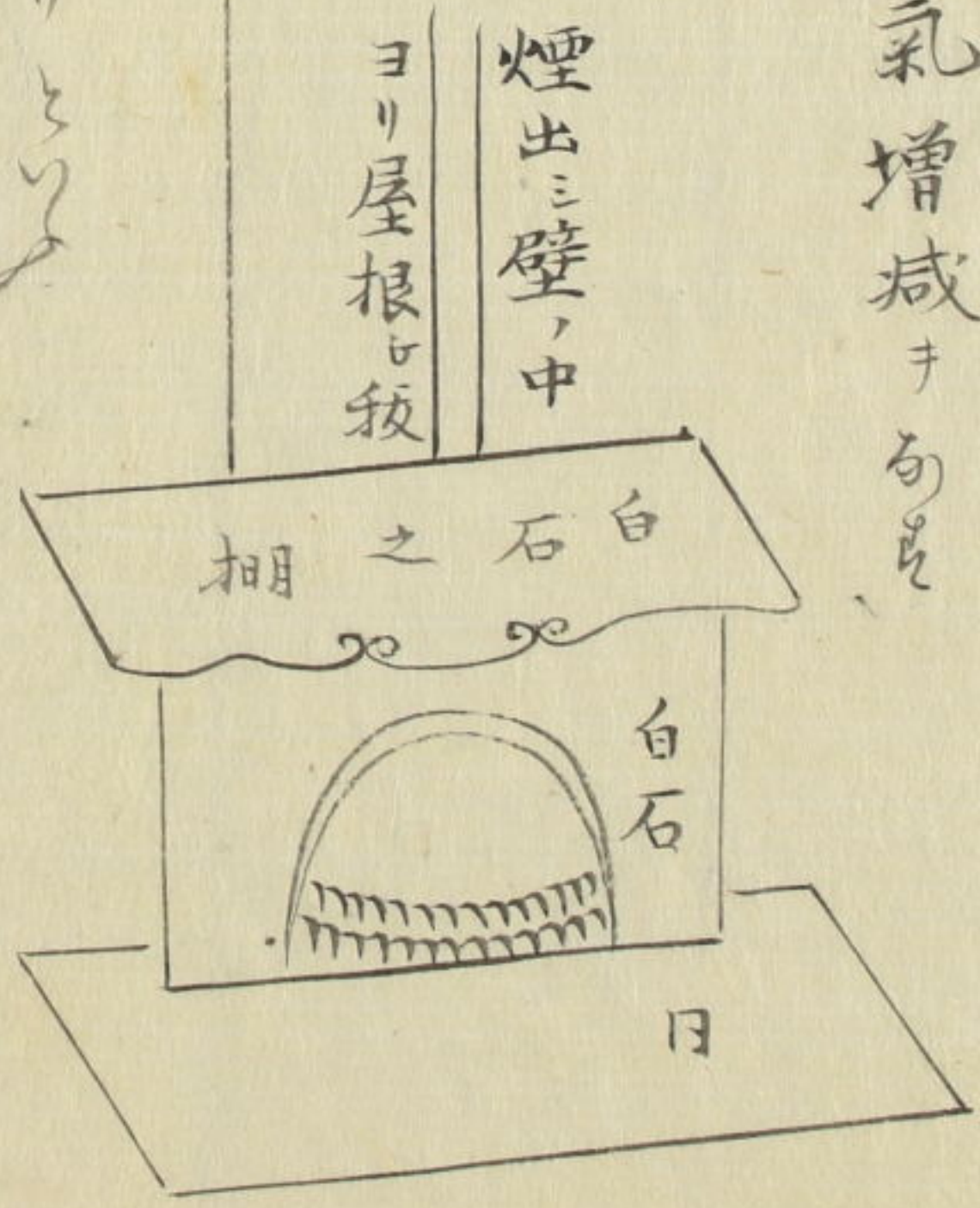
曲撮の意

以所子車を自由小也



種この彫物をあそ

一室ヲ暖メル火所之圖並名カツプリと云



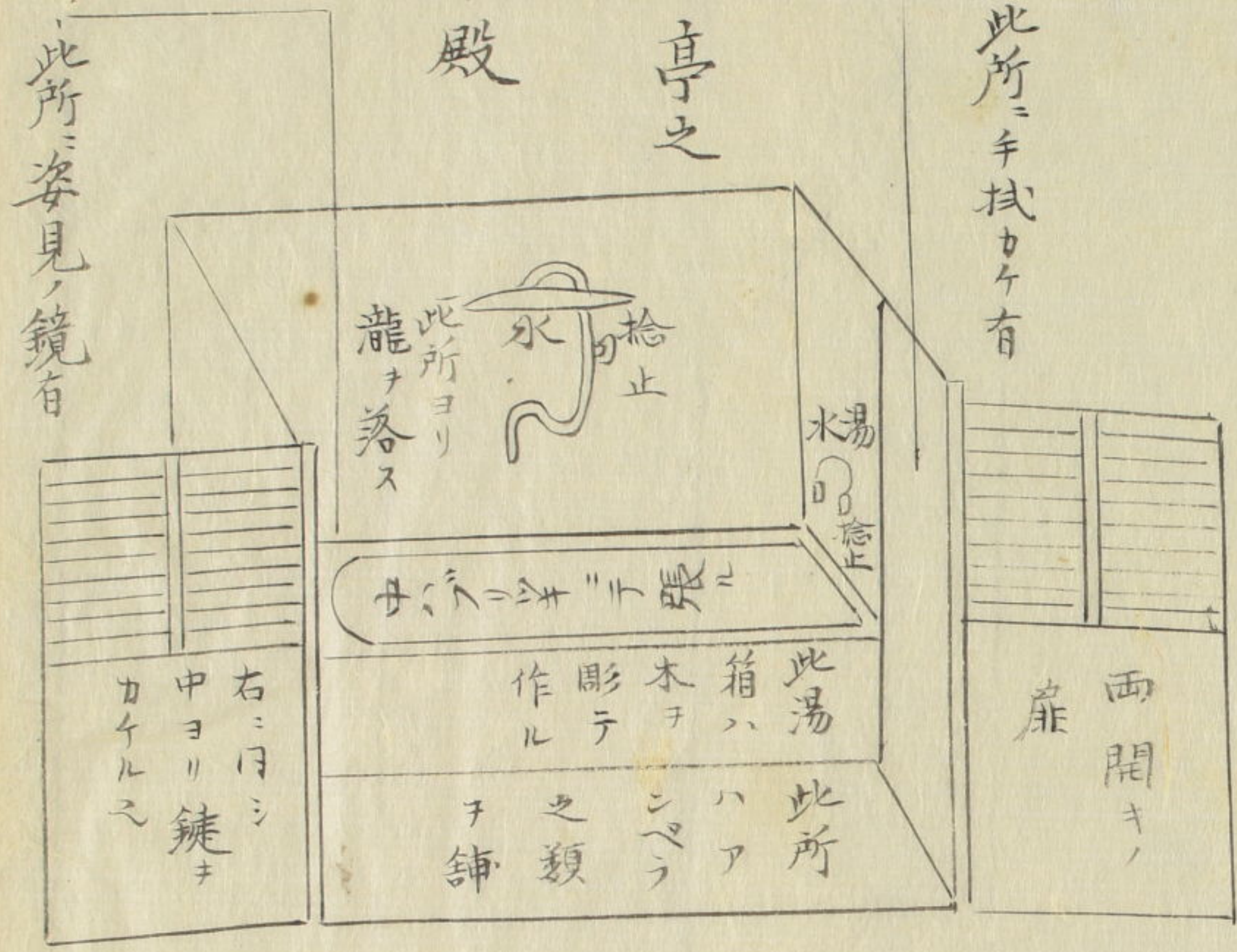
煙出ニ壁ノ中ヨリ屋根ヲ抜

相之石

白石

日

湯殿 旅亭之



此所ニ手拭カケ有

此所ヨリ龍ヲ落ス

此所ニ姿見ノ鏡有

湯水拾止

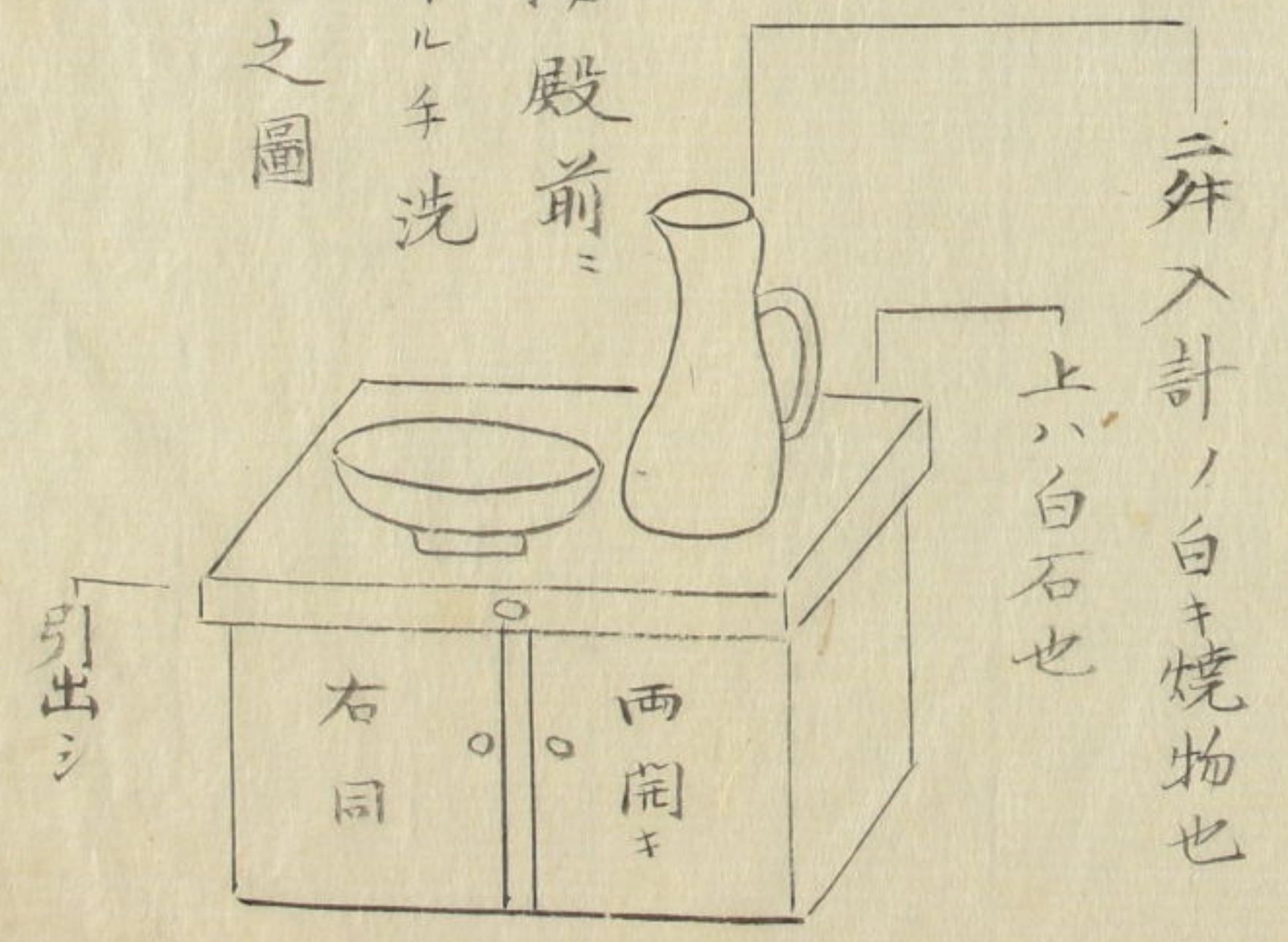
此湯箱ハ木ヲ彫テ作ル

此湯箱ハ木ヲ彫テ作ル

此所ハアシメラ

右ニ日シ中ヨリ鏡ヲカケル也

湯殿前ニ有ル手洗水之圖



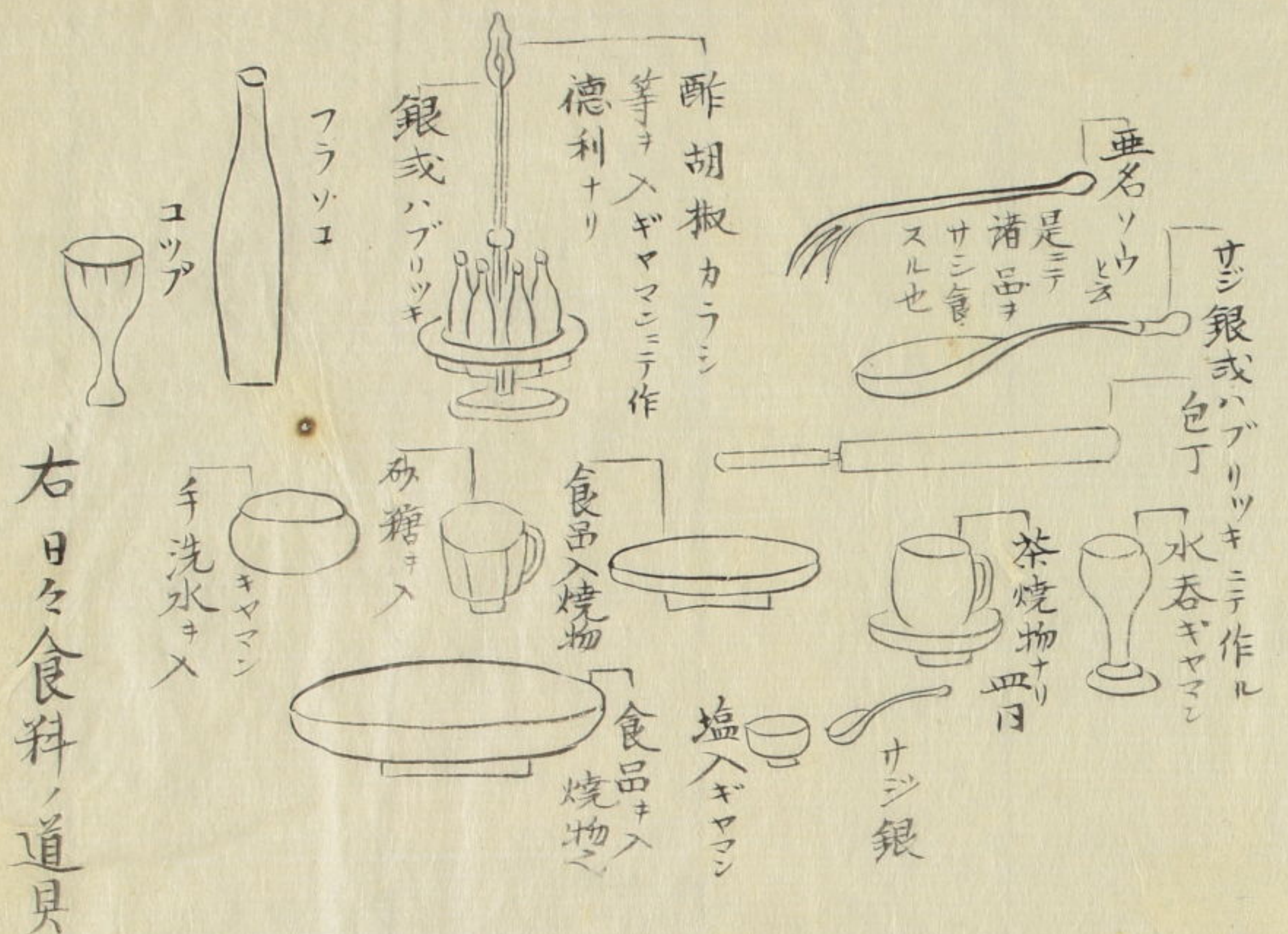
二并入計ノ白キ焼物也

上ハ白石也

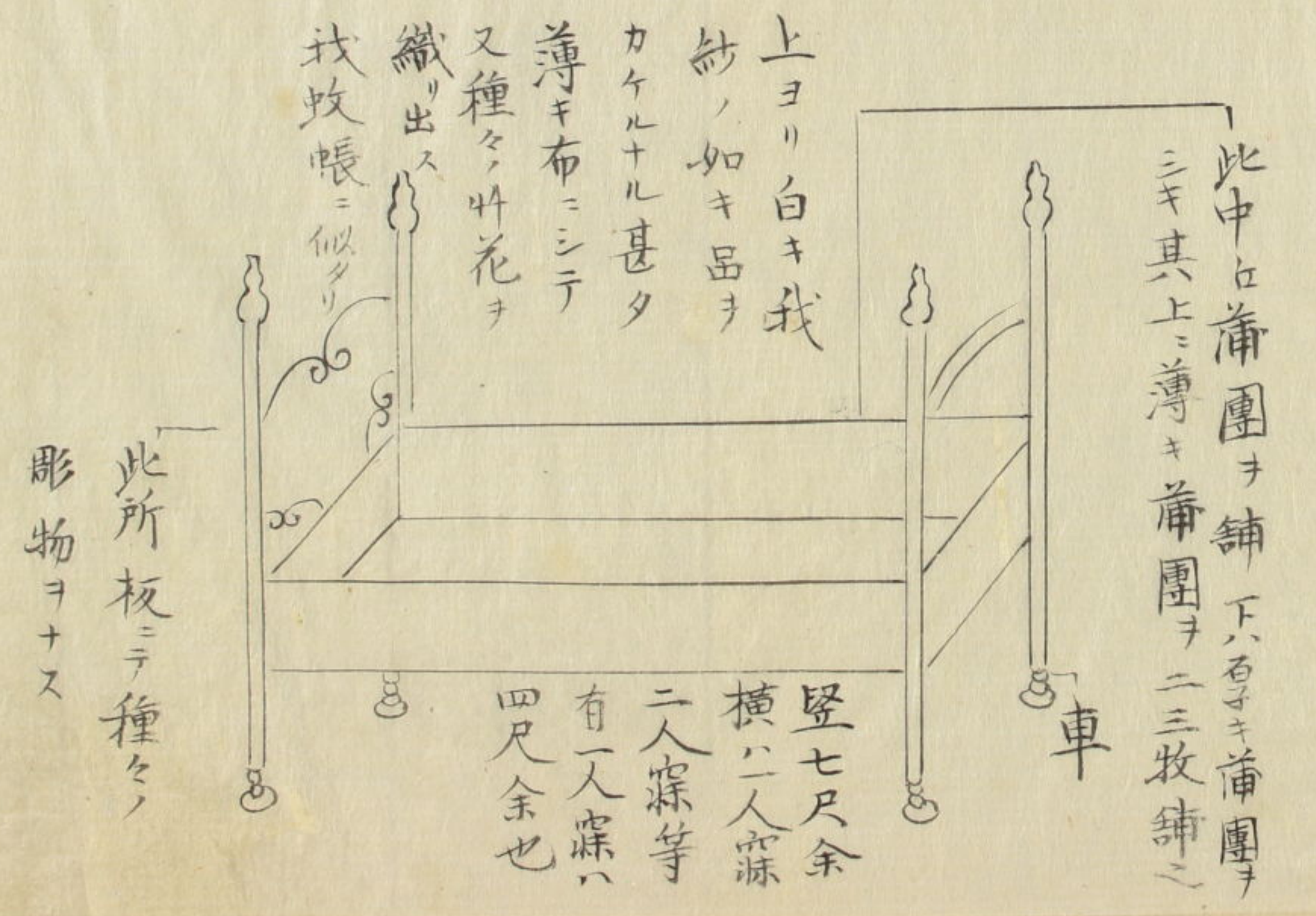
引出シ

右同

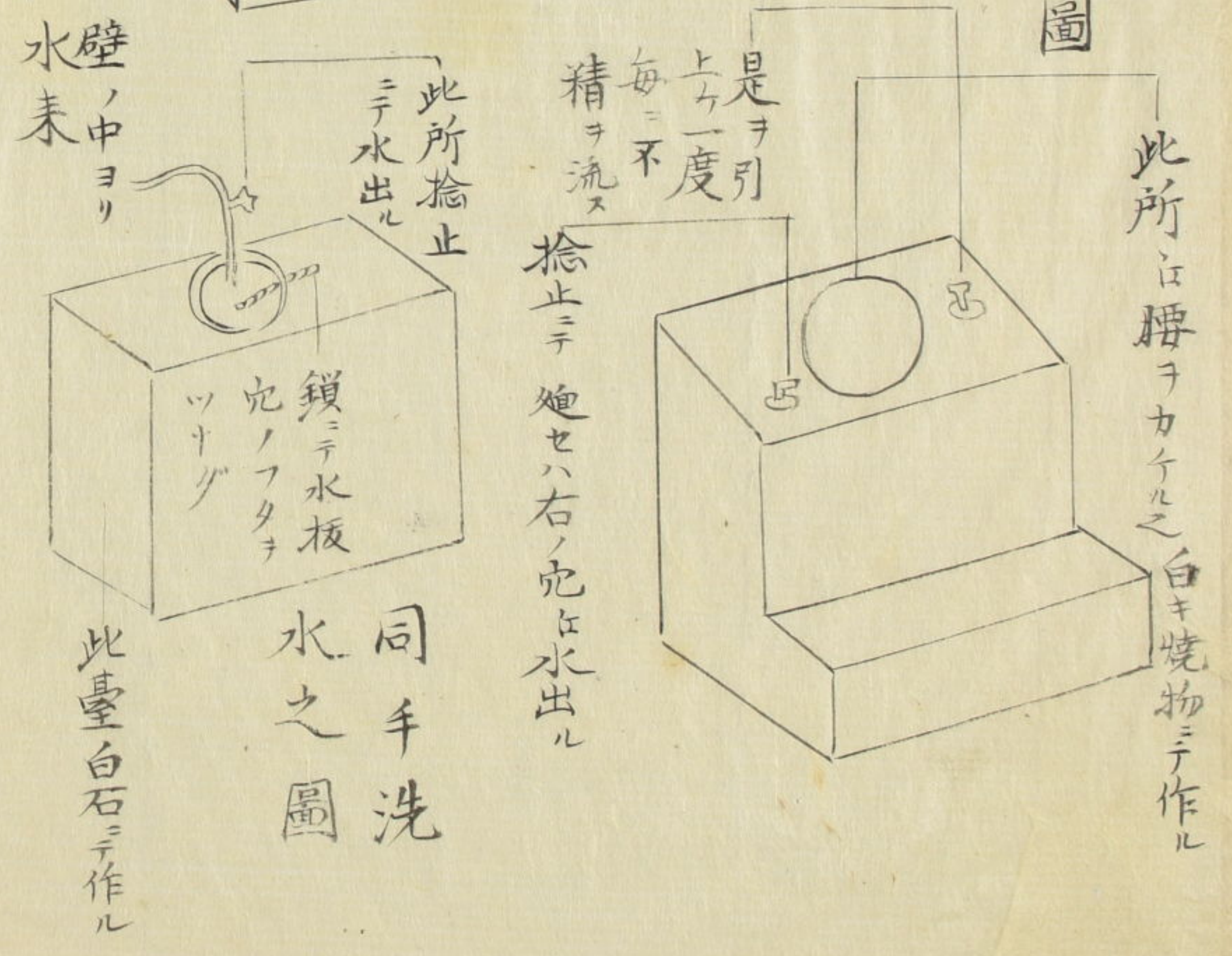
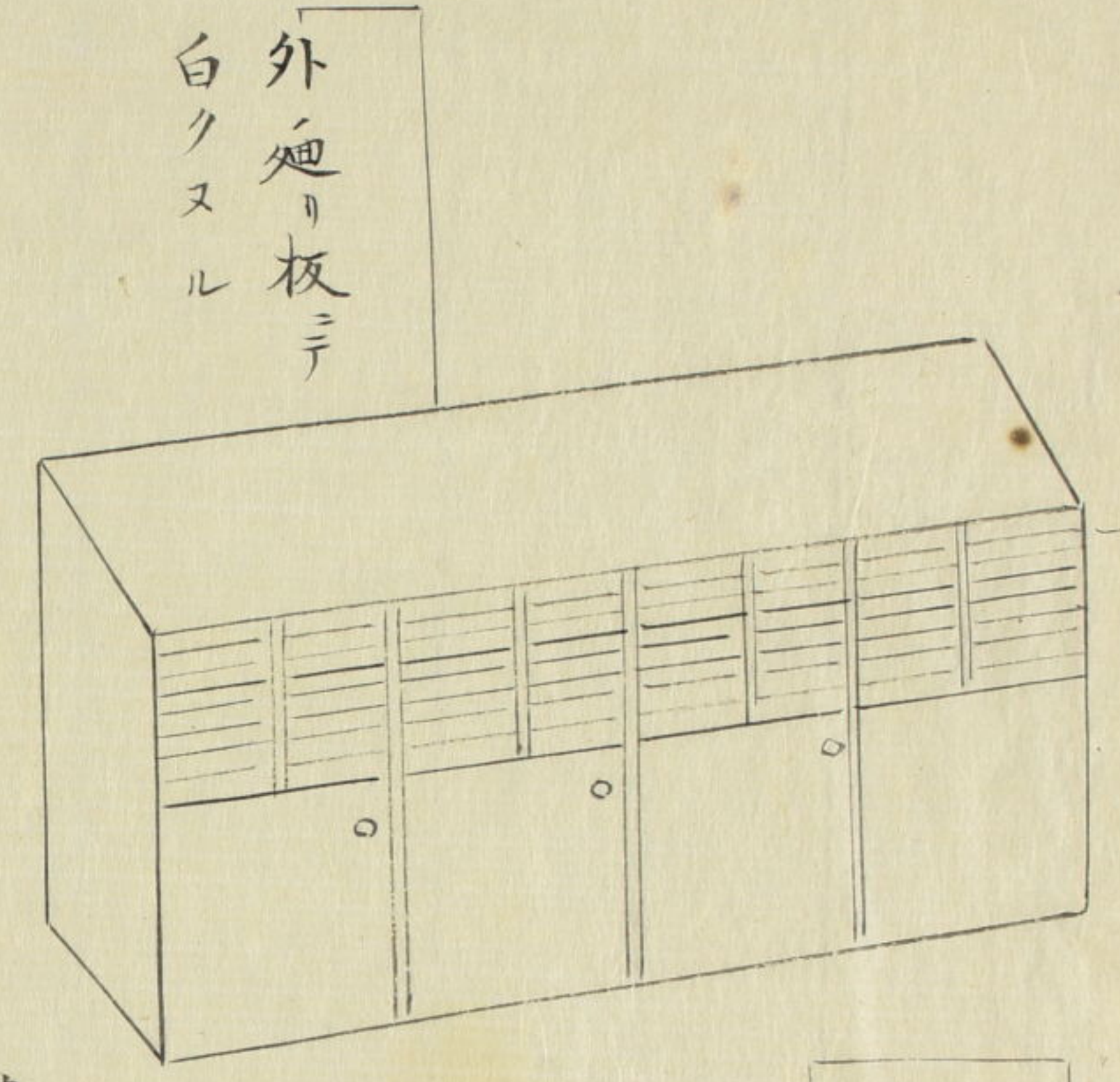
西開キ



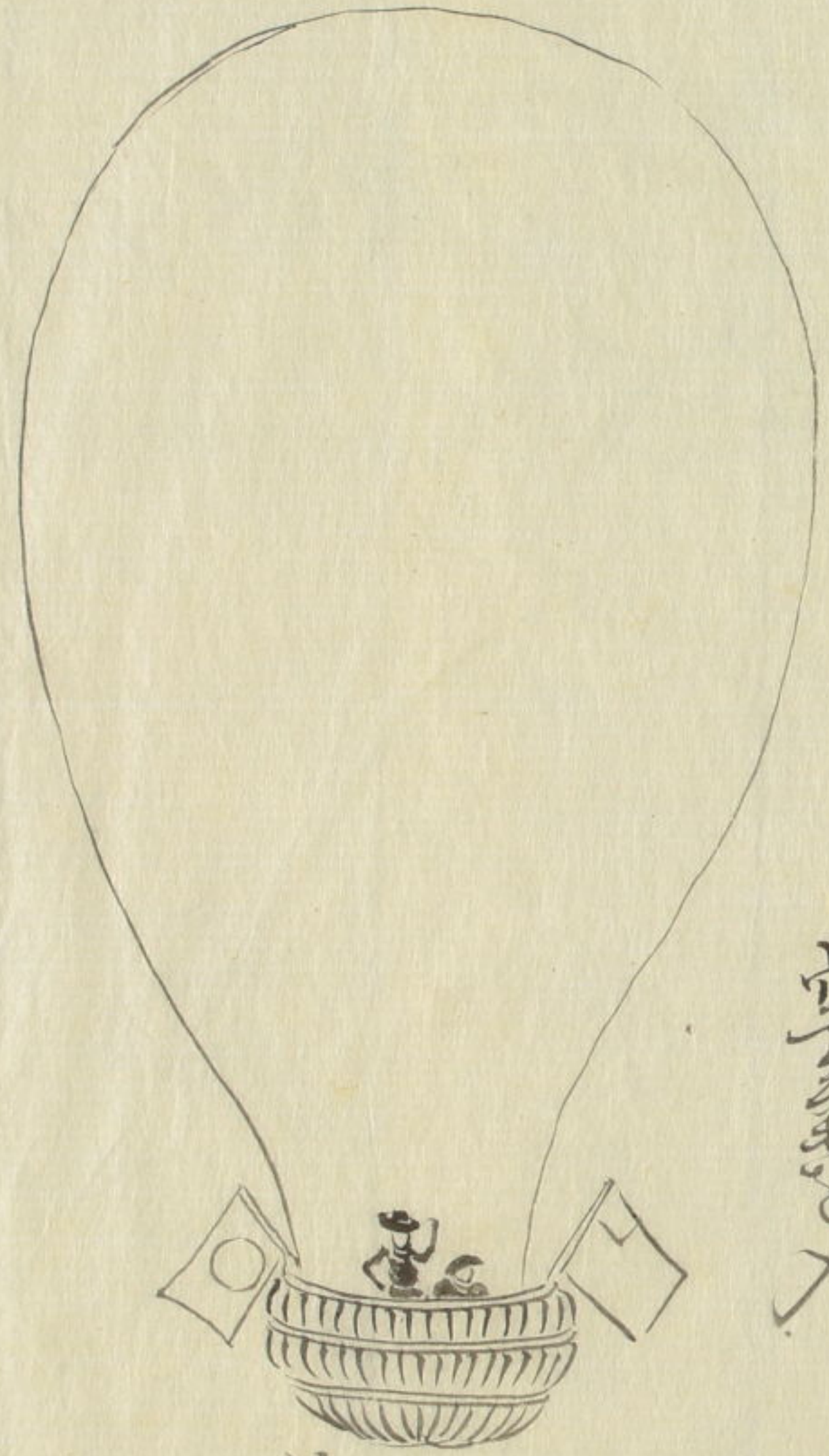
竊臺之圖



雪隠



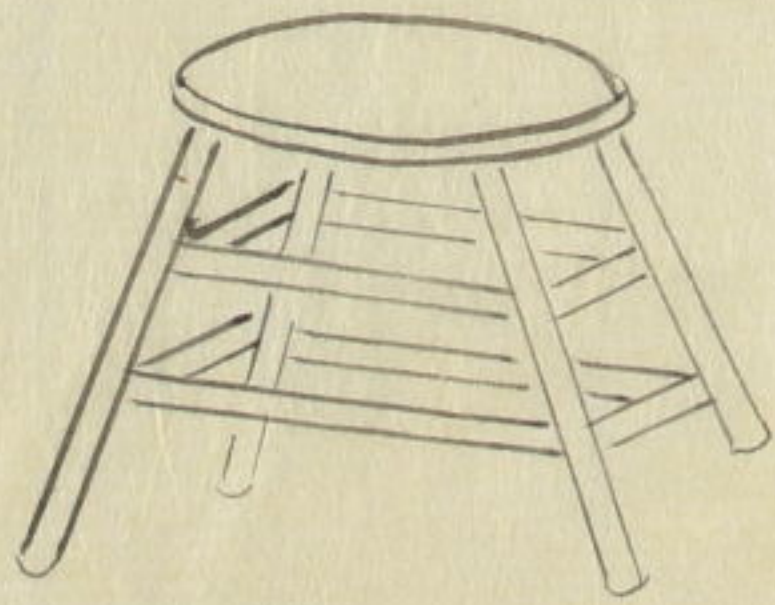
風船之圖



帆布綿之類を他以て中に
空氣を入

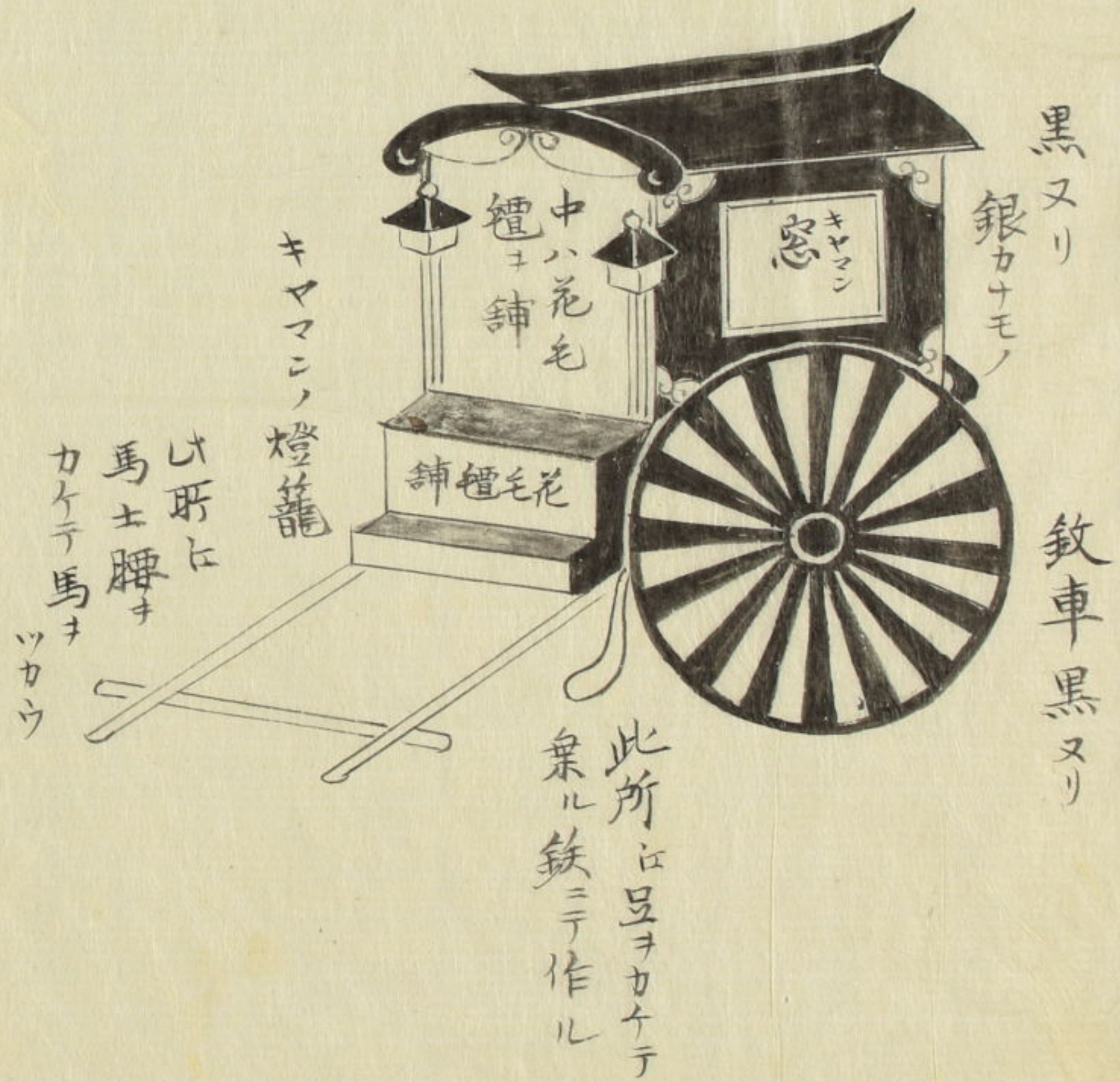
同臺

籠の
あも也



馬車ノ圖

米國ニテハ此馬車ヲ
我國ノ駕籠ノ類ニ
用ユルナリ



黒ヌリ

銀カネモノ

致車黒ヌリ

キママンノ燈籠

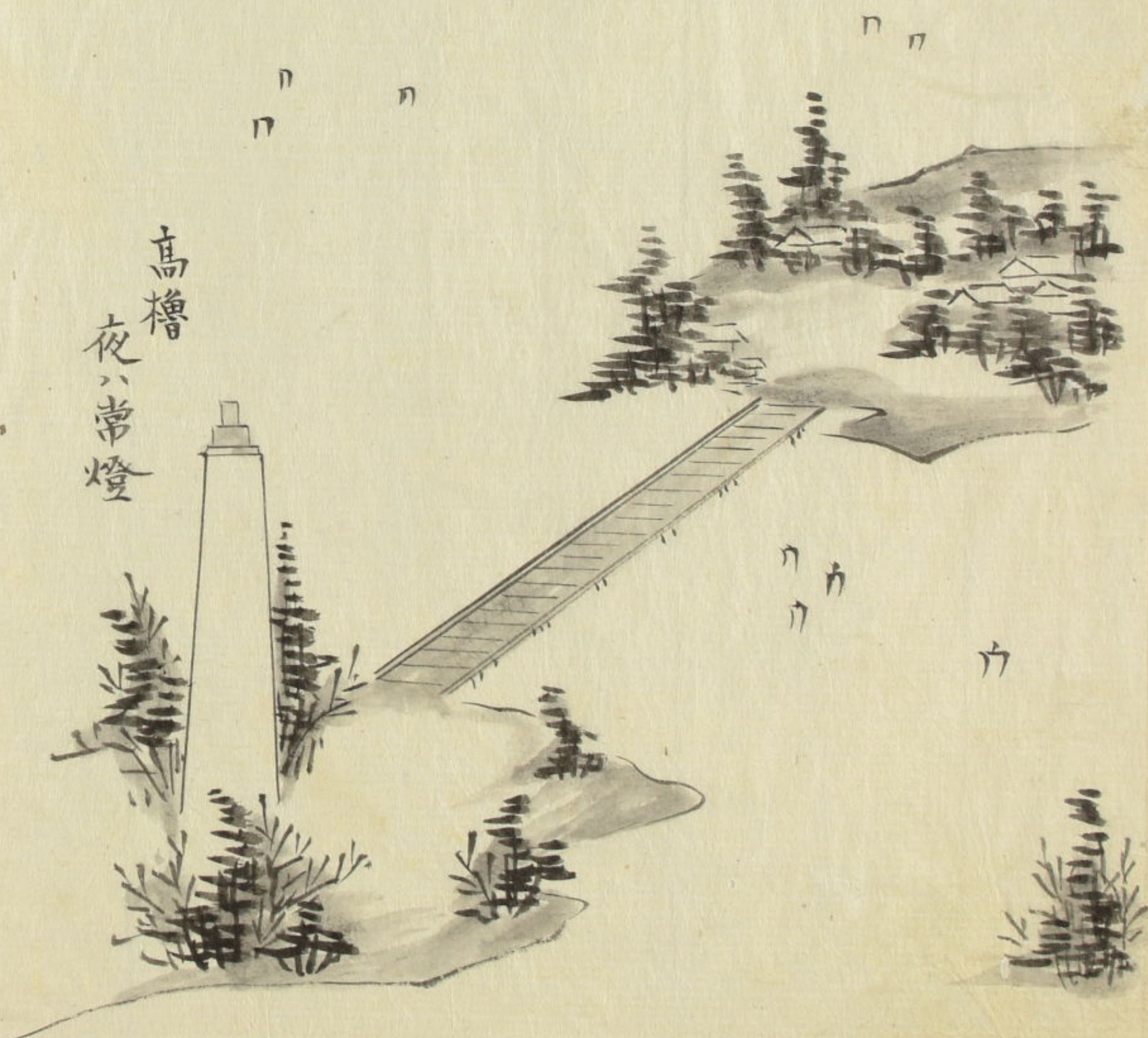
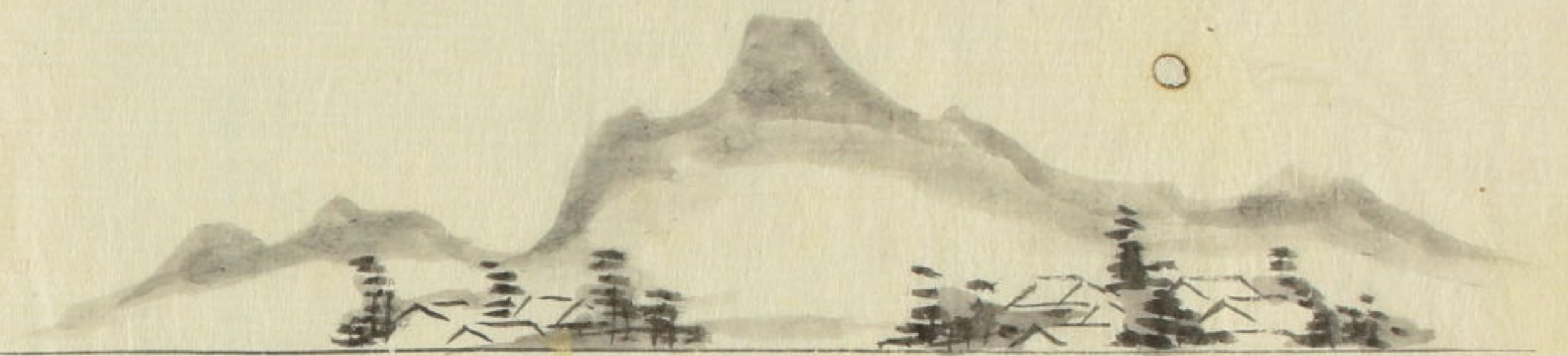
中ハ花毛
罎ヲ
鋪

花毛罎
鋪

此所ハ
馬士腰ヲ
カケテ馬ヲ
ツカウ

此所ハ
豆ヲカケテ
乗ル鉄ニテ作ル

壬三月
晦日ブレ
シテント
庭上眺
望之園



御軍盤感倭丸系組姓名
咸臨

御軍盤奉行
船中総指揮
教授方

日 日 日 日 日 日 日
子傳

木村 攝津守
勝 麟 右 兵 衛 尉
佐々倉 相 右 衛 尉
鈴木 勇 次 郎
中 濱 可 次 郎
小野 友 右 衛 尉
松 尾 盤 吉
根 津 次 次 郎
畠 田 井 善
小 杉 雅 之 進
赤 松 大 三 郎

慈宗方

日

日

信事公用方

日

山本多武彦
伴 淡右衛門
肥田淡右衛門
吉田勇平
小水井六八郎

木村家之臣

長尾幸徳

新屋昌彦

秀鴻左之助

福澤瑜吉

大橋 栄治

その他九十三人 五人 百人

一ボウハタニ 弘無行姓名

新見豊前守正興

四十八

三河 司 義路 辛卯

新井 貢 貞一 辛卯

佐山 八布 高貞 二十

安田 善一 布為政 二十

堀内 周 台 朝治 十七

柳川 兼三 布 富清 二十

荒木 教右 義勝 二十

玉置 虎太 史 誼 茂 二十

日田 仙三 二十

村垣淡路守範正

四十八

小栗豊後守忠順

三十二

高橋 忠順 春
 北村 市之進 忠實
 西村 重之房 長忠
 吉川 隆次 謹信
 綾部 初之助 幸佐
 松山 吉次 好德
 福村 儀吉 宗明
 谷文 一布 文一
 鈴木 岩次 金令
 吉田 好三 信成
 塚本 吉友 勉
 江幡 祐造 尚賢

桑田 忠之助 清行

四十五

三好 權三 義路
 福嶋 惠三 義言
 三村 廣次 秀清
 木村 淡吉 敬直
 佐藤 藤七 信有
 木村 清義 正義
 廣 彬 格 包章
 石川 濫吉 克巳
 狩野 庄 定安
 三浦 東造 道賢
 森 安 張元

成瀬 善四郎 正典

三十九

塚原重六郎 昌義

二十四

小糸源氏 煥

二十四

山田馬次郎 清樹

二十四

平野新吾

二十四

日高桂三郎 為善

二十四

本郷八郎 芳義

二十四

伊藤久三郎 一貫

二十四

形部渡右衛門 政好

二十四

伊藤義孝 政行

二十四

松平三之丞 春彦

二十四

吉田信之丞 久通

二十四

大塚源之助 玄

二十四

益津俊次郎 尚俊

二十四

尾崎平 重滿

二十四

辻芳之丞

信明

佐野 鼎 新

二十四

塩沢玄次郎

二十四

中村新九郎 信仲

二十四

栗沼玄次郎

重全

木村信之助 正盛

二十四

坂本 義右 保吉

二十四

名村五八郎

二十四

立石 将十郎

二十四

日公次郎 教之

斤山友吉 武富

高海 立元 三義

新原吾一 忠實

村山 伯元 淳

大橋 隆道

川邊 道氏 勤

島内 篤之 包孝

外國官所用達

昌田 平作 代

山本 善之 命

加藤 素之 命

佐藤 明之 命

服部 文之 命

ハ下男

中野 次郎 命

渡辺 次郎 命

惣人数七十五人

正月廿二日 横濱港出航より九月廿二日 帰国
しるし 海彦里敷船

要、北官ハ子六百七十五人

未記
共
12

